



にこにこ



暦の上では春ですが、厳しい寒さが続いています。子どもたちは真冬の冷たい風にも負けず、長久保公園や屋上園庭での遊びを毎日楽しんでいます。長久保公園ではかけっこや鉄棒、砂場でおままごとなどを思う存分体を動かして遊ぶ姿が見られます。また、斜面の上り下りを友達と一緒に楽しみ、寒さも吹き飛ばしています！散歩ロープをしっかりと握り歩ける子は、川沿いなどに散歩に出掛けて、ひんやりとした空気を肌で感じて、小さい体で季節の移ろいを感じながら外の景色を楽しんでいます♪屋上園庭では、歩行が上手になった子どもたちが、滑り台やボール遊びで全身運動を楽しんだり、各々が好みの遊びを展開していました。

今年度も残り2カ月となりました。今月も引き続き、感染症に負けず体調に気を付けながら、毎日楽しく、元気に過ごしていきたいと思っております♪



保育園ではよく子どもたちにわらべうたを歌っています。歌うだけではなく、手を取ってなぞったり、腕や足、体全体を使って一緒に楽しんでいます。「わらべうた」とは、子どもたちの日常生活や遊びのなかで継承されてきた歌のことです。

わらべうたは音域が狭く五つの音できている為、とても歌いやすいメロディーになっています。音の数が少なく、うたも短いという特徴があります。同じ言葉を繰り返し聞くことにもなり、何度も歌っていると、子どもたちも大人と一緒に、身振り手振りを真似して歌ってくれます。そして生活するうえで使う、基本的な言葉が出てくるので、うたを通して身近な言葉を覚えるということにも繋がります。



子どもたちへの効果として、わらべうたを聞かせることは、周囲に興味を持つきっかけになります。歌声に反応し、自発的に動こうとすることで、身体機能の発達に良い影響を与えることも考えられます。また、わらべ歌を歌いながら手足を使って遊ぶことでスキンシップがとれ、ママやパパとの絆を深めることができます。

わらべうたを通して、友だちと楽しく遊ぶことができるため、コミュニケーション能力を身につけたり、言葉や数を覚えることにつながります。そして、歌と一緒に体を動かすことで、運動能力やリズム感を養うことも。さらに、日常生活の中で使われる言葉や動きが出てくるので、遊びながら生活の基本を学ぶことも出来ます。

ご家庭でも、お子さんと向かい合い、目と目を合わせて歌うことで、安心感や親しみをもち、信頼関係が生まれ、愛着も形成されます。特に乳児期においては、物音や機械の音よりも人間の声に快く反応し、気持ちも安定します。ぜひお時間がある時はご家庭でもわらべうたを歌ってみてください！どんなわらべ歌を歌っているのかな？などご質問などありましたら、いつでもお声掛けください♪